

大学入学者選抜に係る現状等

○アドミッション・ポリシーの作成状況(平成24年度入試)

○入学者受入方針の策定の状況

区分		入学者受入方針を定めている大学数		
		学部ごとの入学者受入方針を定めている大学・学部数		
		大学数	学部数	
大学	国立	82 (100.0)	81 (98.8)	375 (98.4)
	公立	80 (100.0)	80 (100.0)	173 (100.0)
	私立	579 (100.0)	577 (99.7)	1,618 (99.0)
	計	741 (100.0)	738 (99.6)	2,166 (99.0)

○入学者受入方針の明確化の状況

区分		求める学生像だけでなく、高等学校段階で習得しておくべき内容・水準を具体的に定めている大学数
大学	国立	58 (70.7)
	公立	27 (33.8)
	私立	231 (39.9)
	計	316 (42.6)

文部科学省大学入試室調べ

○学校教育法施行規則第七十二条の二(平成22年6月改正、平成23年4月施行)

大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。

- 一 大学の教育研究上の目的に関すること
 - 二 教育研究上の基本組織に関すること
 - 三 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
 - 四 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること
 - 五 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること
 - 六 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たつての基準に関すること
 - 七 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
 - 八 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
 - 九 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
- 2 大学は、前項各号に掲げる事項のほか、教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報を積極的に公表するよう努めるものとする。
- 3 第一項の規定による情報の公表は、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によつて行うものとする。

○国公立大学の一般入試における面接、小論文等の実施状況(平成26年度入試)

区 分	平 成 2 6 年 度					
	国 立		公 立		計	
	大学	学部	大学	学部	大学	学部
入学者選抜の実施 大学・学部数 《募集人員》	82	383	81	174	163	557
	《 96,270 》		《 28,407 》		《 124,677 》	
1. 一 般 入 試						
個別学力検査等						
小 論 文	65	181	57	87	122	268
	(79.3)	(47.3)	(70.4)	(50.0)	(74.8)	(48.1)
総 合 問 題	23	45	16	20	39	65
	(28.0)	(11.7)	(19.8)	(11.5)	(23.9)	(11.7)
面 接	65	166	54	79	119	245
	(79.3)	(43.3)	(66.7)	(45.4)	(73.0)	(44.0)
実 技 検 査	54	58	16	20	70	78
	(65.9)	(15.1)	(19.8)	(11.5)	(42.9)	(14.0)
リ ス ニ ン グ	11	20	2	3	13	23
	(13.4)	(5.2)	(2.5)	(1.7)	(8.0)	(4.1)

1. 平成25年度7月末現在で集計したもの。(設置認可申請中等の予定のものを含む。)
2. 学部内の募集単位により選抜方法が異なる場合には、それぞれの箇所に計上。
3. () 書きは、入学者選抜実施大学・学部数に対する割合を示す。
4. 募集人員に外国人留学生を対象とする選抜分は含まない。

○多面的・総合的な選抜を行っている例(平成26年度入試)

1. 東北大学工学部:AO入試 II期(募集人員:104名)

- ・出願要件として高等学校の教科の評定平均値(理数系教科4.5且つ全体4.0以上)を要求
- ・出願書類(210点)、小論文試験(240点)、面接試験(150点)を総合的、多面的に評価(計600点満点)
- ・志願者数が募集人員を大幅に上回る場合は、出願書類による第1次選抜を実施
- ・出願書類として活動報告書(主要な活動の経歴、成果等を志願者が作成、記載事項確認者が確認)、志願者評価書(出身(在学)学校長が作成)、志望理由書の提出を要求

2. 慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部:自由応募入試 A方式(募集人員:各学部100名(他の方式と合算))

- ・出願書類をもとに第1次選抜を実施
- ・出願書類として志願者評価(志願者を客観的に知る立場にある者2名が作成)、活動報告(中学卒業後から出願に至るまでの学業・学業外の活動内容について志願者が作成。出願要件の判断に使用。)、志望理由・入学後の学習計画・自己アピール(志望理由とともに文章と自由記述を用いて自由に表現)、任意資料(所定の資料だけでは表現しきれないもので、選考にあたり有用と判断した資料)を要求
- ・第2次選抜で面接試験(30分、うち7分をプレゼンテーションとして使用可)を実施し、第1次選抜の評価と合わせて総合判定

3. 九州大学21世紀プログラム:AO入試(募集人員:26名)

- ・出願書類をもとに第1次選抜を実施
- ・出願書類として活動歴報告書(中学時代から出願時までに取り組んだ学校での勉学以外の各種活動等について記述したものを志願者が作成)、志望理由書を要求
- ・第2次選抜で講義(3講義、各約50分)に関するレポート(各約70分)と討論(150分)、小論文(約270分)及び面接(約15分)を課し、提出書類の内容と合わせて総合判定

○出願書類の例1(東北大学)

東北大学AO入試Ⅱ期

志願者全員提出

志 願 理 由 書

※

※印の欄は記入しないでください。

志願者氏名 (フリガナ)	志望学部 学部	志望系・学科 (理学部・工学部志願者のみ記入) 系・学科
-----------------	------------	------------------------------------

1

5

10

15

20

25

(注) 志望学部を志願する理由について、勉強したい学問分野、希望する進路、これまで熱中したことなど
と関連させて、800字程度で記述してください。(鉛筆書きは不可)

※ 本書類は、本学ウェブサイトから様式をダウンロードすることができます。
(様式掲載アドレス <http://www.tnc.tohoku.ac.jp/>)
自筆又はダウンロードした様式に文字入力して作成したものを提出してください。

文字入力して作成する場合は、必ず両面印刷してください。

東北大学AO入試Ⅱ期

志 願 者 評 価 書

(高等学校等に作成いただきます。)

※

※印の欄は記入しないでください。

平成 年 月 日

東北大学総長 殿

学 校 名

学 校 長 名

作 成 者

職 名

氏 名

所 在 地 〒

電 話 番 号

() (-) ()

下記の者を、貴学のAO入試Ⅱ期志願者として責任をもって評価します。

1 志願者氏名等

フリガナ	性別	生 年 月 日	平成 年 月
氏 名	男・女	平成 年 月 日生	卒業(修了)見込

2 志望学部等

志 望 学 部	志望系・学科 (理学部・工学部志願者のみ記入してください。)
学部	系・学科

3 入学意志の確認

この学生募集〔東北大学AO入試Ⅱ期〕は、志願者が東北大学での勉学を強く志望し、合格した場合は必ず入学することを出願の要件としています。その旨を志願者に確認してください。
確認後、下欄の□にチェックしてください。

← 東北大学での勉学を強く志望し、合格した場合は、必ず入学することを確認した。

4 所見 (全学部とも記入してください。なお、志望学部が文学部、工学部の場合は、学業における所見を記入してください。)

5 人物所見 (志望学部が文学部、工学部の場合のみ記入してください。)

(ア) 志願者の能力・素質 (理解力・自発性・想像力・計画性・直感力・理論性など)

(イ) 志願者の性格・行動 (自主性・持続性・向上心・責任感・好奇心・公共心など)

文字入力して作成する場合は、必ず両面印刷してください。

東北大学A0入試Ⅱ期

工学部志願者のみ提出

寮

寮印の欄は記入しないでください。

活動報告書

東北大学 総長 殿

記載のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

志願者氏名 フリガナ _____

(姓 名 月 日 平成 年 月 日 性別 男・女)

記載事項確認者 署名 _____
氏名 _____

(志願者評価書作成者と同じことが望ましい。)

出願基準を参考にして、部活動、各種コンテスト、コンクール、競技会、懸賞論文等への取り組み、資格の取得など、現在までにあなたが達成した主な活動実績を最大5件まで選択し、あなたにとって重要度の高いものから順に記載してください（自筆又は本学ウェブサイトからダウンロードした様式に文字入力。鉛筆書きは不可）。活動の成果や取得した資格等を示すもの（表彰状、新聞等の記事、論文、英検、TOEFL、TOEIC等の成績証明書、各種資格取得証明書等。いずれも写し（A4判）にて可。書式自由）がある場合は、資料番号欄に記入した番号を付し、本報告書に添付してください。

■ 活動実績1

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績2

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績3

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績4

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績5

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

裏面につづく

○米国大学における入学者選抜の例

1. ペンシルバニア州立大学(ユニバーシティパーク校)

- ・ 志願者44,502名、合格者23,855名(53.6%)、入学者7,306名(2012年)
- ・ 4年での卒業率63%、6年での卒業率87%

[出願要件等]

- ・ 高校において英語(4単位)、数学(3)、科学(3)、社会科学(3)、外国語(2)を含む合計15単位以上の修得が必要。
- ・ アドバンスト・プレイズメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績証明書、大学独自の願書(エッセイを含む)

[合否判定方式]

- ・ 高校の成績を2/3、SAT又はACTの成績を1/3の比重で得点化し、一定の基準以上の者を合格判定。
- ・ 高校の成績の評価においてAPやIB等の成績があれば加味。
- ・ 高校の成績の学校間格差の調整は行わず。
- ・ SAT等の成績よりも高校の成績を重視するのは、
 - ①1日の試験の結果より長い時間をかけて得たものを重視
 - ②裕福な家庭の子弟はSAT等の準備コースに入り対策を講じており、SAT等の成績は家庭の経済状況の影響を受けることなどが理由。
- ・ 優等学位プログラムや医学特別進学課程を希望する入学志願者の場合は、エッセイや教師の評価書、奉仕活動の経験等も加味して合否判定。

2. ブラウン大学(私立)

- ・ 志願者30,944名、合格者2,757名(8.9%)、入学者1,507名(2012年)
- ・ 4年での卒業率83.2%、6年での卒業率95.0%

[出願要件等]

- ・ 高校において、英語(4単位)、数学(4)、科学(3(実験科学2を含む))、歴史(2)、外国語(4)、音楽・美術(1)、その他(1)を含む19単位以上の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績(SAT II 2科目を含む)、高校3年生前期の成績、高校の内申書、教師の評価書(2名分)、大学共通願書、大学独自の願書(エッセイを含む)

[合否判定方式]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績、エッセイ、教師の評価等を総合的に判断(それぞれの得点化はしない)。
- ・ 個々の選抜資料についての明確な重み付けは設定されておらず、3人の職員それぞれが合否を総合的に判断。最終的には、この評価を参照しつつ20名で構成される委員会における投票によって合否を決定。
- ・ 高校における履修科目のレベルの高さ、アドバンスト・プレイズメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの成績を最重要視。
- ・ SAT等は家庭の経済状況の影響を受けることも審査の際に考慮。
- ・ 学生集団の多様性確保には配慮(ただし特別の基準、枠等は設けず)。

○受験生から大学に提供する受験生情報の例(米国の例)

○SATにおける受験生情報の提供

米国における大学入学者選抜の際の共通テストであるSATにおいては、本人が希望する大学に対して、テスト・スコアに加えて以下の受験生情報が提供されている。この情報は各大学と受験生とのマッチングを図る際の有効な情報として一般に活用されている。

(主な記入内容)

高校での履修科目、科目別成績、GPA、クラス内順位、高校・地域での活動歴(役職への就任、受賞経験等を含む)、スポーツ歴、希望する進学先の大学のタイプ・希望する専攻、アドバンスト・プレイスメント・テスト受験意思、補習教育の希望、入学後のクラブ活動希望、奨学金希望、入学後のアルバイトの希望、1年次の希望する居住形態、人種、英語以外の言語能力、米国市民権の有無、宗教、障害・疾病の有無、数学・科学・ライティングの能力自己評価、両親学歴、両親の年収

○コモン・アプリケーションにおける受験生情報

全米の500大学以上が採用しているオンラインによる出願のためのシステム。共通のフォーマットに必要事項を記入し、志願する大学に提出する。

(主な記入内容)

入学時期(秋、春)、関心のある学問分野、奨学金希望、入寮希望、取得希望学位、米国市民権の有無、出生地、米国在住期間、言語能力、人種、両親の学歴・職業、高校の履修科目・成績、GPA、ACT/SATの成績、TOEFL/IELTSの成績、AP/IB/SATsubjectsの成績、課外活動歴(役職への就任、受賞経験等を含む)、エッセイ

○医学部(医学科)の面接試験活用例(平成25年度入試)

1. 秋田大学 前期日程

募集人員:55名

個別試験の内容・配点:数学(100)、外国語(100)、面接(200)の計400点満点
(センター試験は550点満点。総計950点満点)

面接試験の概要:

- ・医師としてのコミュニケーション能力、科学的・論理的思考力、医学への動機づけの強さ、社会への関心度、勉学意欲、医師としての倫理性等について評価。
- ・面接の評価が「不可」の場合は、合格者とししない。

2. 大分大学 AO入試

募集人員:35名

個別試験の内容・配点:

- ・第1次選抜:センター試験の成績により、募集人員の約2.5倍の第2次選抜対象者を決定
- ・第2次選抜:面接(540)、大学入試センター試験(450)、自己推薦書、調査書、特別活動に関する調査書の総合評価

面接試験の概要:

- ・個人面接及び集団面接を実施
- ・個人面接においては、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価
- ・集団面接においては、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性、独創性などを総合的に評価

3. 滋賀医科大学 推薦入試

募集人員:25名

個別試験の内容・配点:学校長の推薦書、調査書、志願理由書、並びに大学入試センター試験の成績、小論文、面接の総合判定

面接試験の概要:

- ・集団面接を実施
- ・将来、医師又は研究者となるにふさわしい資質・適性の観点から評価。

○国際バカロレアの活用例(平成26年度入試)

1. 玉川大学「国際バカロレアAO型入学審査」

【実施学部(募集人員)】全学部(若干名)

【出願要件】

玉川大学を第一志望(専願)とし、国際バカロレア資格を2013年4月から2014年3月31日までに取得または取得見込みの者(ただし、2014年3月31日までに18歳に達していること)。なおかつ、日本語を母語とする者またはJapaneseBをHLで履修し、成績評価が4以上の者。

【出願に必要な書類】

- ①コミュニケーションシート 受験者の意思を確認する独自の対話形式により構成
- ② EVALUATION FORM カレッジカウンセラーまたはDPコーディネーターが作成。人物的特徴の判断に使用。
- ③ 国際バカロレア資格証書のコピー ④ IB最終試験成績証明書 ⑤高等学校調査書[もしくは成績証明書と卒業(卒業見込)証明書]
- ⑥ 各種資格・検定取得の証明書の写し(指定する検定等に該当する者のみ)

【選抜方法】書類審査

2. 岡山大学「国際バカロレア入試(AO入試)」(4月入学)

【実施学部(募集人員)】理学部、医学部、工学部、環境理工学部、農学部、マッチングプログラムコース(いずれも若干名)

【出願要件】

(1)国際バカロレア資格証書(IBフルディプロマ)を平成25年4月から平成26年3月までに授与される者で、平成26年3月31日までに18歳に達するもの

(2)国際バカロレア資格の取得において、次の①および②に該当する者

①言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者

②岡山大学が指定する科目(1~2科目)を指定のレベルにより履修し、必要な成績評価を修めた者

(3)岡山大学での勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合には必ず入学することを確約できる者

【出願に必要な書類】

<IB試験を受験した者>

①国際バカロレア資格証書の写し ②IB最終試験6科目の成績証明書(本紙) ③自己推薦書 様式有り。

④評価書 学校長、進路指導担当者又は日本語の担当教員が作成。様式有り。

<IB試験受験予定者>

①国際バカロレア資格の取得見込み証明書(様式任意) ②IBディプロマPredicted Grades若しくはAnticipated Grades ③自己推薦書 様式有り。

④評価書 学校長、進路指導担当者又は日本語の担当教員が作成。様式有り。

【選抜方法】

学部等により、①書類審査 ②書類審査および面接審査 の選抜方法のどちらかを採用。

○(参考)国際バカロレアについて

国際バカロレア(IB)について

○国際バカロレア(IB)は、国際バカロレア機構(IBO:本部ジュネーブ)が実施する国際的な教育プログラムであり、**グローバル人材を育成する有用なツールの一つ**。

○このうち、16歳～19歳を対象としたディプロマプログラム(DP)は、所定のカリキュラムを履修し、最終試験に合格することで、**国際的に通用する大学入学資格(IB資格)**を取得できるプログラムであり、**世界の主要な大学において入学選考等に広く活用**。

※この他、3～12歳を対象としたプライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)、11～16歳を対象としたミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)がある。

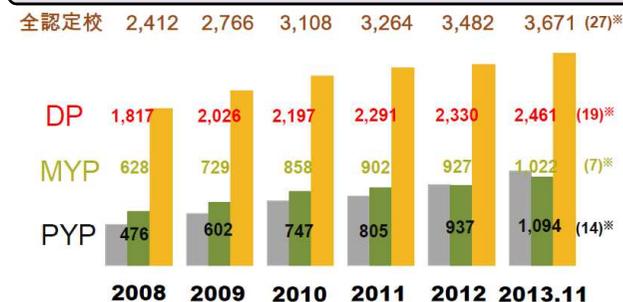


現状等

○現在、我が国におけるIBの普及・拡大に向けて、以下の取組を実施。

- ・国際バカロレア日本語デュアルランゲージディプロマ(「日本語DP」)の開発・導入
平成25年度から、国際バカロレア機構との協力の下、DPの科目の一部を日本語でも実施可能とする「日本語DP」の開発・導入に着手。(平成25年度予算額 60百万円)
- ・「国際バカロレア・デュアルランゲージ・ディプロマ連絡協議会」
東京学芸大学を中心とした、IBに関心を有する高校等の連携・情報共有の場。
- ・「国際バカロレア日本アドバイザー委員会」の設置
高校・大学・経済界等の有識者が、我が国におけるIBの普及について議論。IBOが設置。

世界におけるIB認定校数の推移



※()内は日本国内の学校数。
H25年11月現在、日本のDP認定校数は19校(うち一条校は6校)。

「日本再興戦略・JAPAN is BACK-」 (平成25年6月14日閣議決定)

- ・一部日本語による国際バカロレアの教育プログラムの開発・導入等を通じ、国際バカロレア認定校等の大幅な増加を目指す
(2018年までに200校)

今後の取組

○平成26年度においては、我が国におけるIBの実施に必要な環境整備を図るとともに、更なる普及・拡大の加速のため、以下の取組を実施。(平成26年度概算要求額 87百万円)

【日本語DPの一層の推進】

- ・日本語DPの開発強化
(日本語DP科目の充実)
- ・IB教員養成研修(ワークショップ)の実施

【国内におけるIBの普及】

- ・大学等におけるIB資格の評価
- ・活用に関する調査研究

日本語DPによるIB校認定スケジュール(最短ケース)

- ・平成25年10月
IBOに対し、最初の日本語DPによる候補校申請
- ・平成27年 2月頃
IBOから、最初の日本語DPによるIB校認定
- ・平成28年 4月
最初の認定校で、2年生より日本語DP課程開始
- ・平成29年11月
同校で、3年生がIB試験受験
- ・平成30年3月
同校から、3年生が卒業

○入学者選抜において活用されている外部試験等の例

1. 語学関係(英語)

実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS、国際連合公用語英語検定、ケンブリッジ大学一般英語検定、GTEC、日商ビジネス英語検定、全商英語検定、工業英語能力検定、全工・リスニング英語検定 等

2. 語学関係(英語以外)

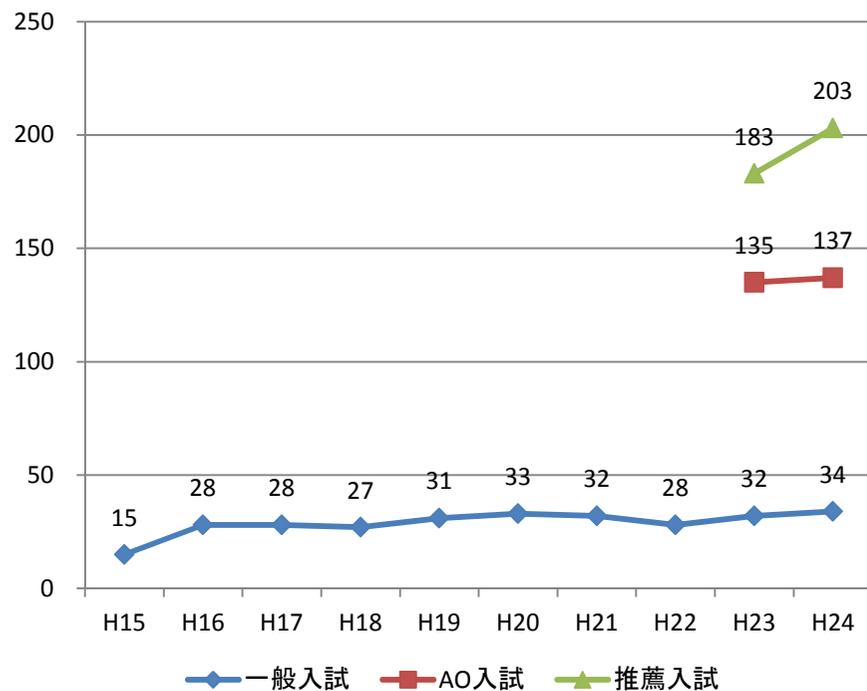
実用フランス語技能検定試験、フランス国民教育省認定フランス語資格試験(DELF、DALF)、ドイツ語技能検定試験、スペイン語技能検定、スペイン語検定試験(DELE)、ロシア語能力検定試験、実用中国語技能検定試験、中国語コミュニケーション能力検定、中国語検定試験、漢語水平考試(HSK)、ハングル能力検定試験、韓国語能力試験 等

3. その他

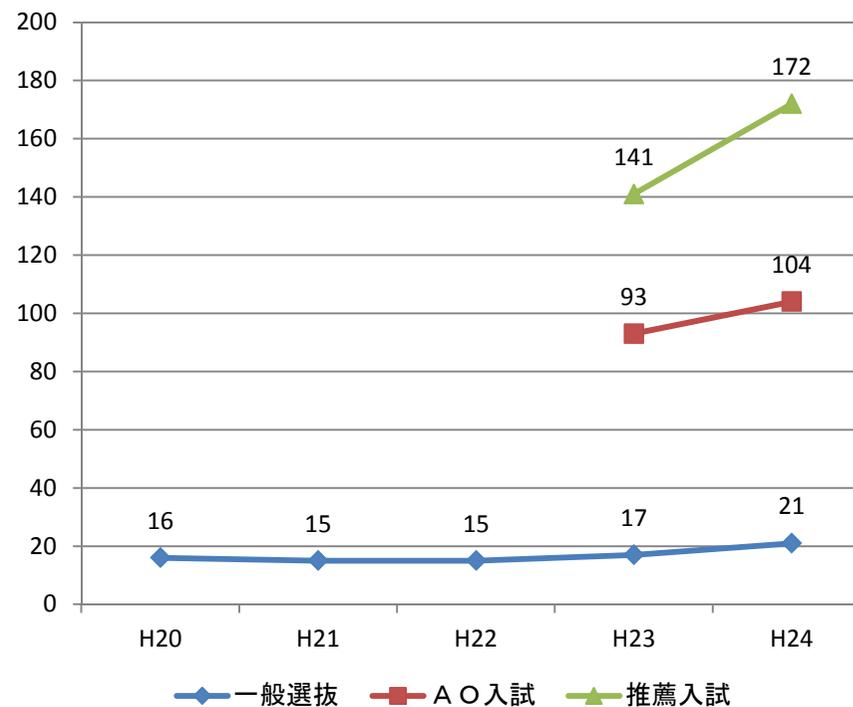
全商各種検定(情報処理、商業経済等)、実用数学技能検定、経産省ITパスポート試験、秘書技能検定、全工各種検定(情報技術、パソコン利用技術等、ジュニアマイスター顕彰)、日商各種検定(販売士、PC、珠算等)、全経簿記能力検定試験、語彙・読解力検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト、パソコン検定、情報検定、珠算能力検定、全珠連珠算検定、歴史能力検定、世界遺産検定、ヤマハ音楽能力検定、食物調理技術検定、調理師免許 等

○大学入学者選抜における外部試験等の活用状況(推移)

<語学関連>
(大学数)



<語学以外>
(大学数)



文部科学省大学入試室調べ

○ジュニアマイスター顕彰制度について

＜主催＞全国工業高等学校長協会

＜目的＞資格の取得や競技会等での成果を表彰することにより、生徒の意欲と技術・技能の向上を目的とする。

＜顕彰の方法＞主に工業教育に関わる資格、競技会、コンクール等200項目程度を選定し、その難易度や重要度を点数化し、表(区分表)を作成。

30点以上にはジュニアマイスターシルバー

45点以上にはジュニアマイスターゴールド

の称号を外部委員からなる認定委員会が学校長から申請のあった生徒に対し付与する。

＜主な資格や競技会＞

ランク	ポイント	主な資格や競技会	
S	30	電気主任技術者3種	高校生ものづくりコンテスト全国大会1位
A	20	各職種技能士2級	若年者ものづくり競技大会1位
B	12	品質管理検定2級	
C	7	電気工事士2種	高校生ものづくり県大会優勝
D	4	危険物取扱者乙種4類	高校生ものづくり大会県大会入賞
E	2	アマチュア無線技士3級	各種技能系競技会県大会入賞
F	1	ガス溶接等技能講習	

○全国商業高等学校協会各種検定の概要

概要

学習指導要領に示された教科「商業」の科目のうち検定試験として対応できる科目において、各科目の目標を達成することを目指して、商業高校の生徒の技術や専門知識の向上を図るために実施。

生徒の学習状況に応じて級が設定され、ふつう1年生で3～2級、2・3年生で2～1級合格を目指す。

検定の種類(①日時・回数 ②受検料 ③試験内容 ④級位)

(1) 珠算・電卓実務検定試験

①6月・11月の2回 ②800円 ③実技 ④1級～6級

(2) 簿記実務検定試験

①6月・1月の2回 ②1000円 ③筆記 ④1級～3級

(3) ビジネス文書実務検定試験

①6月・11月・2月の3回 ②500円～1000円 ③筆記・実技 ④1級～4級

(4) 英語検定試験

①9月・12月の2回 ②900円～1000円 ③筆記・リスニング ④1級～4級

(5) 情報処理検定試験

①9月・1月の2回 ②1000円～1500円 ③筆記・実技 ④1級～3級

(6) 商業経済検定試験

①2月の1回 ②1000円 ③筆記 ④1級～3級

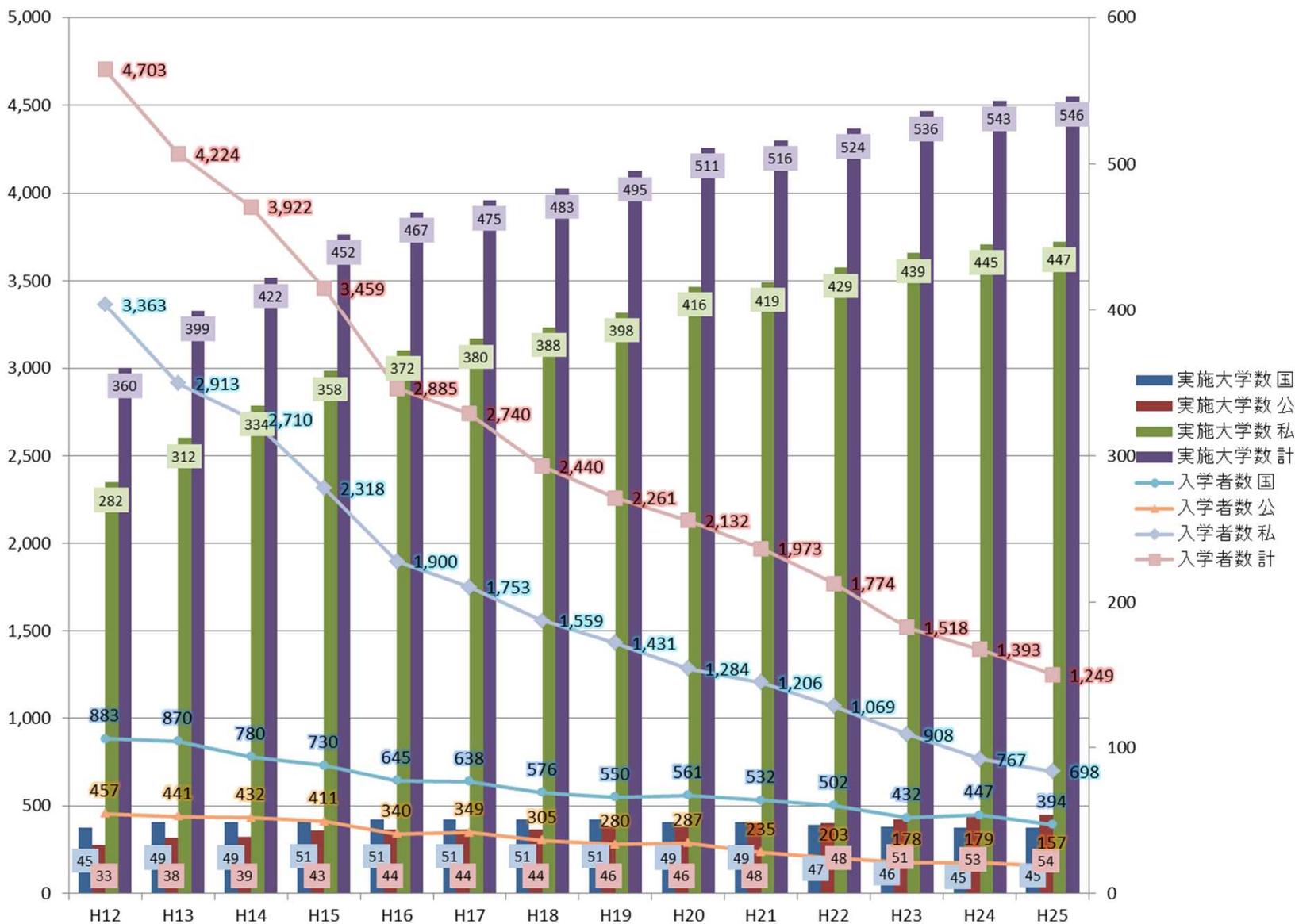
(7) 会計実務検定試験

①10月の1回 ②1500円 ③筆記 ④級位無

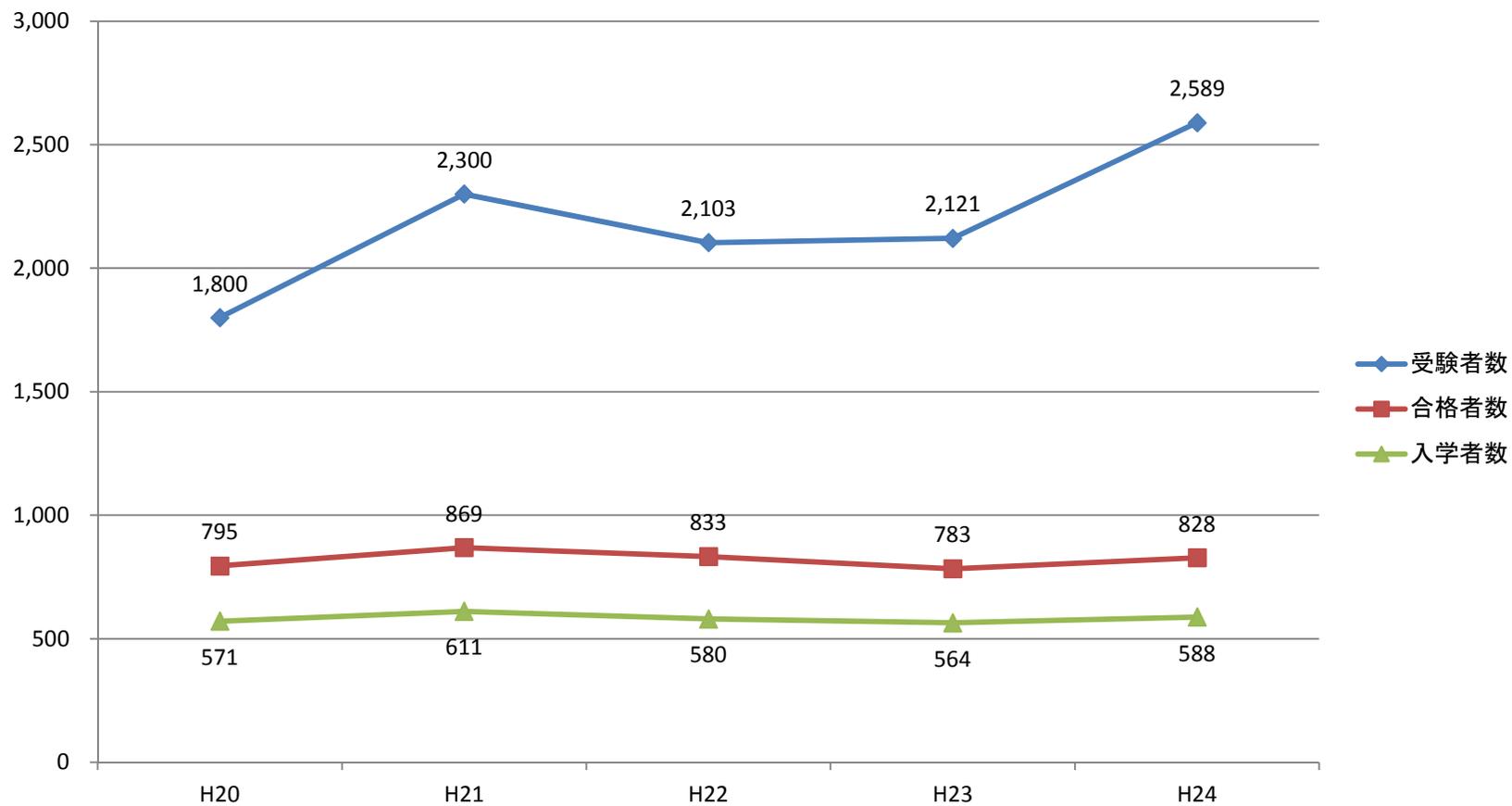
(8) ビジネスコミュニケーション検定試験

①7月の1回 ②1000円 ③筆記・面接 ④級位無

○社会人入試の実施状況(平成12年度入試～平成25年度入試)



○障害を理由とする特別な措置を行った大学入学者選抜受験者数・合格者数・入学者数



大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査(日本学生支援機構)より、文部科学省作成。